

学習面について

平均正答率(%)の全国・県と比較

- ◎ … 2ポイント以上の +
- … 1ポイント以上から2ポイント未満の +
- ◇ … ±1ポイント未満
- △ … 1ポイント以上から2ポイント未満の -
- ▲ … 2ポイント以上の -

国語

A 問題 (知識問題)	話す・聞く	書く	読む	言語
全国平均	◎	◎	◎	◎
県平均	○	△	◇	△

- ★ 聞き手を意識して分かりやすい語句を選んだり、相手の発言を受けて必要に応じて質問をしながら聞き取ったりする力が県平均よりも高い結果となりました。授業で互いの意見を聞いた上で発言する生徒が多いからではないかと思えます。
- ★ 「書く」については、より相手に伝わるようにするための工夫、文章構成や意見を支える根拠が明確かどうか、また語句の選び方などを意識して書く力が県平均よりも低い結果となりました。書いた文章を読み返し、より読みやすく分かりやすい文章にするために推敲していく必要があります。
- ★ 文章の要旨をとらえたりする力が県平均よりも高い結果となりました。一方で、文学的な文章では、登場人物の描写に着目して心情を理解することが苦手なようです。全体的な話の流れを踏まえた上で、登場人物の言動の意味を考えて想像するようにしましょう。
- ★ 表現技法や文法の品詞、手紙の書き方についての理解が全国、県平均よりも低い結果となりました。表現技法については、短文づくりを行うなど実際に活用するようにしましょう。文法は、例文を基に理解することが大切です。手紙の書き方については、実際に職場体験でのお礼状を書く際に、手紙の形式に込められた相手への敬意について考えながら書くようにしましょう。

B 問題 (活用問題)	話す・聞く	書く	読む
全国平均	◎	◎	◎
県平均	△	△	◇

- ★ 「話す・聞く」では、スピーチをする際に、中心的な情報と補助的な情報を使い分けたり、資料の活用についての効果を考えたりする力が県平均よりも低いことが分かりました。今後、予め準備した原稿用紙を見ながらその通り話すのではなく、スピーチメモを作成したり、時には資料も用いたりするなどして、より聞き手の反応を見ながら話せるようにしていきましょう。
- ★ 「書く」では、自分の考えを書こうとする意欲は高いのですが、複数の資料を読み取り、それらと関連付けて自分の考えを述べる力が県平均よりも低いようです。そうした条件に合わせて書く機会を多くつくっていき、力をつけていきましょう。
- ★ 文学的文章を読む際に、文章の構成や展開について、根拠をもとに自分の考えをもつことが苦手な生徒がいるようです。全体をとらえた上で各場面の役割について考えるなどの活動をしていきましょう。
- ★ 選択肢の問題で、全てにおいて無解答(空白)が県平均よりも多い結果が出ています。それぞれの選択肢の内容の違いを意識して読み、あきらめず解答するようにしていきましょう。

数学

A 問題 (知識問題)	数と式	図形	関数	資料の活用
全国平均	◎	◎	◎	◎
県平均	△	△	◇	○

- ★ 文字の式の計算や方程式を解く問題では、県平均を上回る正答率でした。定期テスト前に実施しているスキルテストへの学習の成果が表れていると考えられます。一方、正の数・負の数の計算や比の表し方など簡単な問題を間違える生徒が見受けられました。速く計算を解くことも大切ですが、計算過程を丁寧に書くなど正確さも身につけましょう。
- ★ 作図問題や立体の投影図、多角形の内角に関する問題は、県平均を上回っており、基本的な知識が身についています。一方、いろいろな視点から図形を見る問題や説明、証明をする問題を苦手としている生徒が見受けられました。まずは三角形の合同条件をしっかり覚え、証明問題に積極的に挑戦していきましょう。
- ★ 関数の領域に関しても、関数関係でないものや反比例のグラフを選択する問題、グラフを読み取る問題では、県平均を上回る正答率でした。関数に関する知識やグラフを読み取る力が身についています。今後は読み取る知識をさらに伸ばし、計算を用いてx、yの関係を表せるようにしていきましょう。
- ★ 度数を答える問題や確率の問題は、県平均を大きく上回りました。反復学習し、より確実な力を身につけていきましょう。また「代表値(平均値、中央値、最頻値)」の意味や求め方もしっかり復習しておきましょう。

B 問題 (活用問題)	数と式	図形	関数	資料の活用
全国平均	◎	◇	◎	◎
県平均	△	▲	◇	▲

- ★ 文字式を利用する問題では、具体的な数の計算はできていましたが、その根拠を説明する問題を苦手としている生徒が多かったです。また類似問題で解答を予測したり、説明したりすることも苦手としています。苦手意識を少しでも克服できるよう、文章題に積極的にチャレンジしていきましょう。
- ★ 平行四辺形になる条件を用いての説明や平行四辺形の性質を用いた証明を苦手としている生徒が多かったです。まずは、教科書の例題を確実に理解して、真似をしながら練習し、先生の添削を受けながら、1つ1つ理解することで力がついていくでしょう。
- ★ 関数の領域では、比例や反比例関係を式に表したり、その式を用いて問題を解決したりする力が、少しずつ身についています。しかし、反比例関係の正誤を判断し、その理由を説明するところまでには、まだ至っていません。具体的な例を調べて予想を立て、その正誤を根拠をあげて説明する練習を、簡単な事柄から積み重ねていきましょう。